

経営比較分析表（令和6年度決算）

新潟県 中央病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
条例全部	病院事業	一般病院	500床以上	自治体職員
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	24	対象	ド透I未訓ガ	救臨が感災地輪
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	不採算地区中核病院	看護配置
2,110,754	37,306	非該当	非該当	7：1

※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
524	-	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	6	530
最大使用病床（一般）	最大使用病床（療養）	最大使用病床（一般+療養）
509	-	509

■ 当該病院値（当該値）
- 類似病院平均値（平均値）
[] 令和6年度全国平均

経営強化に係る主な取組（直近の実施時期）

機能分化・連携強化 (経費の削減・ネットワークを推進)	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
-	年度	年度

I 地域において担っている役割

高度急性期・急性期病床の機能を担い、患者の早期安定に向けて、高度・先進医療を提供する。
他医療機関への支援と人材育成のための教育を行う。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

経常収支比率は概ね100%前後であるが、収益単価がやや低いことから、今後も可能な限り効率的な運営に努める。
(各指標の類似病院平均との比較等)
①経常収支比率：数値が高い
②医業収支比率：数値が低い
③修正医業収支比率：数値が高い
④病床利用率：数値が高い
⑤入院患者1人1日当たり収益：数値が低い
⑥外来患者1人1日当たり収益：数値が低い
⑦職員給与対医業収益比率：数値が高い
⑧材料費対医業収益比率：数値が高い

2. 老朽化の状況について

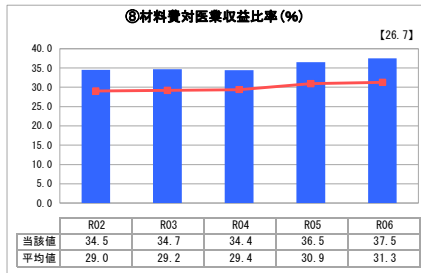
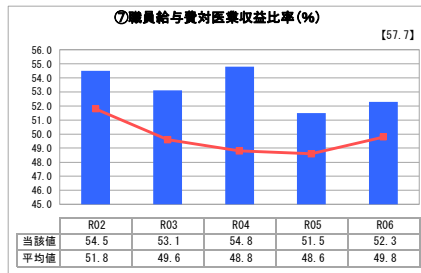
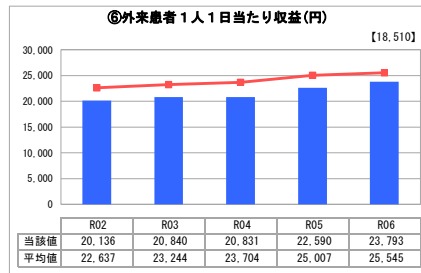
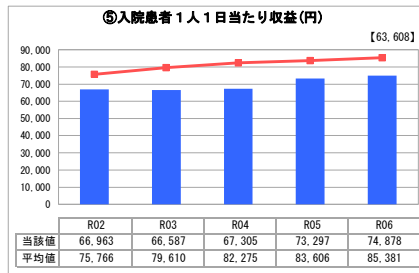
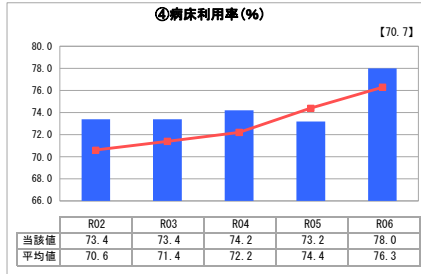
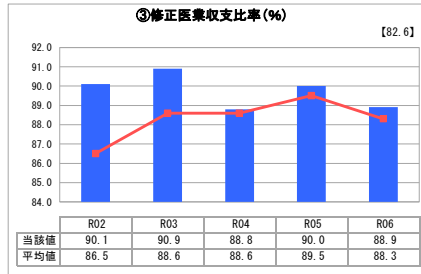
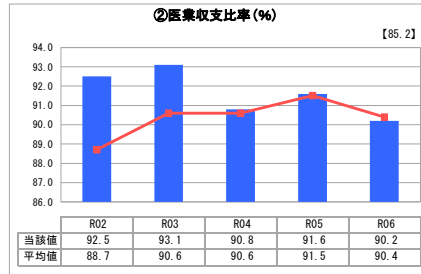
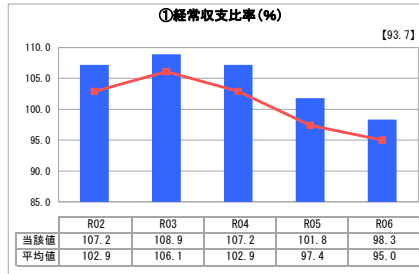
建物を中心として、施設全体の老朽化が一定程度進んでいる状況にある。

- (各指標の類似病院平均との比較等)
①有形固定資産減価償却率：数値が高い
②器械備品減価償却率：数値が低い
③1床当たり有形固定資産：数値が高い

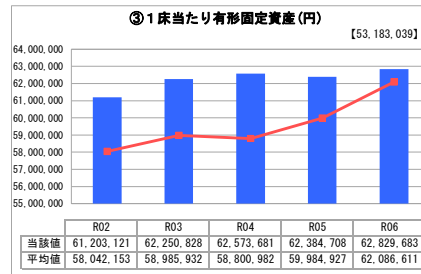
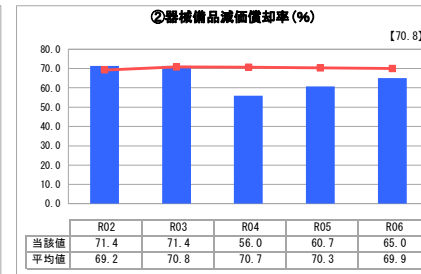
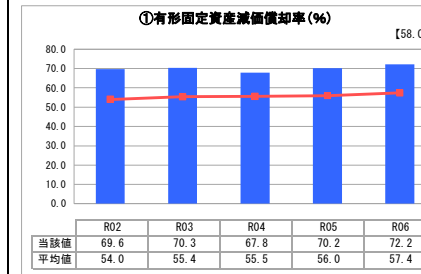
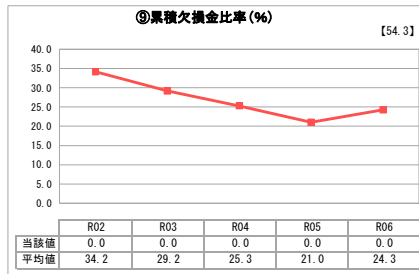
全体総括

患者数の減少や医師の不足・偏在など厳しい医療環境が続く中、県立病院が今後も果たすべき役割を担っていくために、経営改善により経営基盤の安定を図るとともに、県立病院の具体的な役割・あり方や機能・規模について検討していく。

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



※「類似病院平均値(平均値)」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。